



TITLE:

所長の所感

AUTHOR(S):

近重, 眞澄

CITATION:

近重, 眞澄. 所長の所感. 化学研究所講演集 1929, 1: 1-2

ISSUE DATE:

1929-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/73508>

RIGHT:

所 長 の 所 感

所長 理學博士 近 重 眞 澄

(昭和二年六月四日化學研究所創立發表會席上に於ける演説)

來賓各位

本々は御用繁の中を御差繰御臨臨下されましたことを難有感謝いたします。就きまして私は化學研究所の成立と其目的とに關して大要を申し上げたいと存じます。

本研究所は京都帝國大學に附置せられた一の獨立の官衙であります。仕事は化學の特殊事項の學理と其應用とを研究すると云ふことであります。所員は日本の何れの帝國大學でも好い其の教授及助教から採用致しうるので有ます。兼任もあるが専任の所員になれば大學に於ける講座を離れうるので研究のみに没頭し得るゝので有ります。研究題目は所員の自由に定むる所である併し民間からの御依頼にも應じたいと思つて居ます。

一體今日の我國には自然科學及び其の應用に關する研究所の数は可也多くある。其上更に同じ様な研究所が帝國大學に設けらるゝと云ふことについては何か特別の利益の點があるか——此について卑見を申し上げます。

昔から能く云ふ話で「彼れは學者だから」だと其の當世の實務に迂遠なるを嘲るのであります。併し學者は果して常に迂遠なもの計りでありませうか。元來學者に二つの型があります。其一の型は天性學を好み學問をなすのを一の道樂と心得る。今一つの型は功利主義で仕事は能率を主じ其なす事が直に國家の利益になる様にと努むる。此の二種類あります。道樂で學問をする人は其仕事が直に世益になることならざるは問題で有りませぬ。此の點から世人は其爲す處の迂なるを笑ふのでありますが此はむしろ短見である。哲人の仕事は永世の光明であつて何時かはしらぬが其の成績が人間に多大の福利を將來する Potential energy を持つて居ると思ひます。第二種の型の人は當世の急務を目的としますから或は燃料とか食品とか飛行機とか出来れば直に好い獲物を示すのであります併し其れは必ずしも遠大の學理を齎らし得ると云ふ譯には行かぬと思ひます。

それで世間にある一般の研究所には第一種の型の人を容るゝ餘地は殆どないのが常である。目的が近いだけそれだけ偉大なる人物が居らない。此れが其名実はいく成績の必ずしも之れに作はざる所以であります。幸に大學関係には兩種の人材がある。更に兩種を一人で兼ねて功義主義を道樂でやる人まで居る。此等の人物を網羅して出来る研究所である點が一の異彩を放つであらうと私は信じて居ります。

併し茲に一の疑問が有ります。其等の人士の居る大學であれば別に研究所はなくとも教室内で出来るではないかと。併し教室内では學生の教育と云ふ重大の任務があります。それで多忙である。尙その上に教育の目的による設備は凡て小仕掛であります。故に教育の任務を離れ且つ稍大規模の設備をした研究所の設けらるゝ事は我々の長らく希望して居る所であります。

只だ上記の目的を達する爲めには研究所には多大の經費を要します。此經費が得られねば設立の目的の大半を失ふ次第です。經費についての概要を申します。是れは米國の統計でありますが大に参考になると思ひます。

米國で燃料として Gasoline の研究が盛になり最近特許として現はれたものが2500件あります。此2500が先づ實驗室で研究され然る後更に工業化する試験を経て居る。實驗室での費用の總計は二千五百萬弗、工業化の費用二億五千萬弗、故に每件について實驗室で一萬弗、工業化の爲め十萬弗であります。2500件の特許の中實行されつゝあるのが僅かに10件、するゝ $\frac{1}{250}$ でありますから一萬弗は二百五十萬弗、十萬弗は二千五百萬弗に當る次第である。日本で今日一研究に何程用ふる事を許されて居やうか。大學の教室でも年に壹千圓位のものであらう。工業化の爲めには半文も出して貰へない。それで日本では成績が擧がらぬ。學者に能力なしと云ふ評は酷に失する。我研究所では工業化する實驗までもしたいと云ふ希望であります。故につまり經費が如何にして得らるゝかと云ふ事が我研究所の死活問題と思ひます。

勿論公けの經費も仰がねばなりません。又た自己の成績による収入をも圖りますが尙ほ民間からの問題をも御引受けすると云ふ上から將來種々の點に於て來賓各位の御援助を仰がねばならぬことと思ひますについて御披露をかね本々の御來臨を仰いだ次第であります。所の概要を申し上げました。終りに各位の御健康を祝したいと思ひます。

正 誤 表

頁	行	誤	正
序	3	專問	專門
I	5	御臨臨	御來臨
2	4	功義主義	功利主義
8	表 3	irou	iron
9	15	d'elhujor	d'Elhujor
„	17	molebdenum	molybdenum
„	24	csrium	cerium
„	24	Bezeliuss	Berzelius
„	25	Wollastor	Wollaston
„	26	Wollastor	Wollaston
„	27	Wollastor	Davy
„	32	Cemtor's	Curtois
IO	6	terbinm	terbium
„	7	terbinm	erbium
„	8	Uaus	Claus
„	11	Crovkes	Crookes
„	13	Boisboudron	Boisbaudron
„	14	Marignae	Marignac
„	19	praseodimium	praseodimium
„	21	Marignae	Marignac
„	22	Boisbandron	Boisbaudron
„	23	Boisbandron	Boisbaudron
„	26	Reeqleigh	Rayleigh
„	28	Demarcay	Demarçay
II	7	錫に次いで	砒素に次いで
3I	8	土壤等の内に	土壤等の内に
„	18	組織中に	組織中に
„	23	Hが多いために	Hが多いために
33	18	蒸氣瀧	蒸氣罐
36	13	蒸氣瀧	蒸氣罐
37	13	蒸氣瀧	蒸氣罐
4I	末行	η は重力圏内の	η_2 は重力圏内の
63	圖	第一圖	第一圖
65	本文	餘く右に移して	餘り右に移しては
66	17	につて依つて	に依つて
67	13	註 (1)	(2)
68	I	coco butter	cacao
69			欄外に *互に異性體 を加ふ
70	第二圖	ビクデン	ビリデン
71	大豆油	Linoleo-dilimolenin	Linoleo-dilinolenin
„	蛹油	Triolenin	Triolein
72	鱈肝油	Clupanodono-aracnidono-	Clupanodono-arachidono-
„	鱈油	dromibe	bromide
„	鯨油	Linoleo-dizomarin	Linoleo-dizoomarin
„	„	Trycetolein	Tricetolein
75	14	此	比
93	2	藥品添加加、熱	藥品添加、加熱
99	表題	昇華に依つて	昇華に因つて
IOI	7	攷細	仔細
„	22	計算によれるつて與へら環の	計算によつて與へられる環の
IO5	20	光學誘導體	臭素誘導體
IO7	2	反射廻折格子	反射廻折格子
IO8	IO	ケント酸	ケトン酸